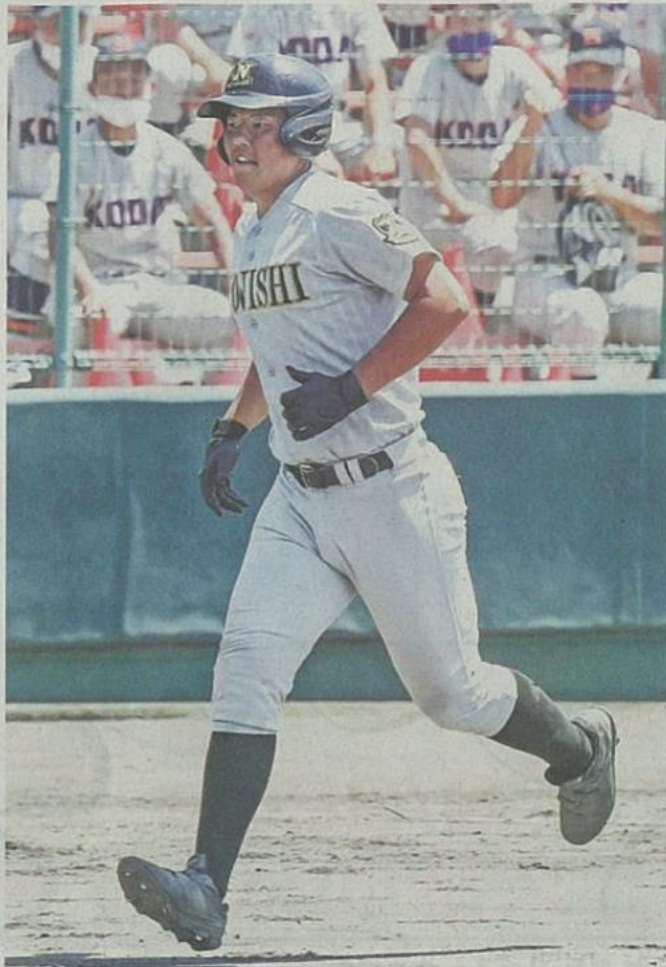


第103回 全国高校野球選手権



青森大会

野西 先制弾実らず



【八学野西－工大一】2回八学野西無死、左越えに先制ソロ本塁打を放ち、ダイヤモンドを駆ける小笠原涼

○：昨秋の県大会で大敗した工大一への雪辱を誓って3回戦に臨んだ八学野西。二回は小笠原涼が初球の甘い直球を強振し、左翼芝生席に突き刺した。初戦、2回戦のような猛攻ののろしとしたかったが、直後に3連続長打などを

浴び4失点。打線はその後、散発2安打と爆発力が影を潜め、勝ち名乗りを受けることはできなかった。それでも、意地は見せた。四回途中から継投した主戦立花歩夢が130キロ台中盤の直球をコースに投げ込み、五回

以降は無失点に抑えた。「鍛えてきた制球力は発揮できた。力を出し切ることができた。悔いはない」と胸を張った。寺嶋恭祐監督も「負けはしたが、選手たちはよくやってくれた」とナインをねぎらった。

八学野西 0 1 0 0 0 0 0 0 | 1
工大一 0 4 1 1 0 0 0 0 | 6

(八) 塩倉、立花—木村
(工) 村木、中村、本間—葛西
▷本塁打 小笠原(八)
▷三塁打 館(工) ▷二塁打 黒田、福田、田端(工) ▷暴投 立花(八) 中村(工)
(球審—小西、塁審—小田、三浦、立花)

【評】工大一は1点を追う二回に黒田、福田、館の長打3連打を含む打者一巡の猛攻で4点を奪い逆転し、三、四回にも加点。3投手の継投で3安打1失点にまとめた。八学野西は二回に小笠原の左越えソロで先制したが、三回以降は打線が繋がらなかった。